

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名 社会福祉法人あざみ会しいのみ保育園

所在地 品川区南品川2-15-14

1 活動のテーマ

リズム

<テーマの設定理由>

乳幼児期で最も大切な五感を養う一つとして、リズムという方向から視覚・聴覚・触覚を主とした五感を養う目的として行う。リズムは日常当たり前のようにどこにでもあり、そんな当たり前のところに耳をすませて意識を向けてみることで、集中力や記憶力・想像力・他者との協調性や表現力を高めることを追及する。またリズムに合わせて体を動かすことでリズム感・バランス感覚・運動能力の向上を養うことを目的とする。

2 活動スケジュール

- ・4月～3月…年間を通して月1回は異年齢児でホールにてリトミック行う
- ・その他クラスごと、保育室やホールにて行う。
- ・身近な素材を使って楽器づくりをし、日常の身近で簡単なリズムを楽しむ。

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

- ・絵本歌
- ・楽器(ピアノ・タンバリン・手作りマラカス)

保育室だけでなく広いスペースの環境を整え、のびのびと行えるよう設定する。

4 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・楽器以外にも口ずさむ音に合わせた日常のリズム遊びでは、「くまさん」「うさぎさん」などと子どもが知っている例えで遊びを展開した。また『ゆっくり・早い』『のっしのっし・びよんびよん』等リズムを表す表現を言葉にして、音符に展開する前の段階を表現にして楽しんだ。
- ・同じリズムでも低い音・高い音で表現が変わる変化も楽しみ、『怒ってる・笑ってる』など音で感情を表す言葉も発した。それにより保育者は音と動きに変化が持てるような援助を音で行い広がりを持てるようにした。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

※活動の様子が分かる写真を2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

音・リズムから想像を膨らませ、日常から見立て遊びへ発展する繋がりもあった。リズムが同じでも音程の変化により「怖・楽」の違いが耳でわかり子どもたちでその表現を身体でする姿が見られたことは、音を聞き分けているということがわかる。身体で表現をする楽しさを存分に感じ「○○みたいだね」と、音により言葉でも表現することが増えていった。日常に耳にする音とリズムから想像力を存分に膨らませ、五感を養うことができた一つとなったと感じる。